

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
C消費生活・環境 (1)金銭の管理と購入	2	○購入方法や支払いの方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 ○物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。	○購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	○物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○より良い生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。
C消費生活・環境 (2)消費者の権利と責任	2	○消費者の基本的な権利と責任、自分の家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。 ○身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。	○消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	○自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○より良い生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
A家族・家庭生活 (1)自分の成長と家族・家庭生活	1	○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家庭や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づくこと。	○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家庭や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
A家族・家庭生活 (2)幼児の生活と家族	10	○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること ○幼児にとっての遊びの意義や幼児とのかかわり方について理解すること。 ○幼児とのより良いかかわり方について考え、工夫すること。	○幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義や幼児とのかかわり方について理解している。	○幼児とのかかわり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。